事例No.	2699
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	摂南大学

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・人材確保・育成

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

摂南大学

出典

令和元年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

摂南大学　　大阪府寝屋川市

地場産品発掘・ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化　定住促進　安心・安全なまちづくり　観光振興・交流
産業振興　コミュニティ　産学官連携

概　要

和歌山県では、平成27年国勢調査において、人口がピーク時より40%以上減少、高齢化率が40%を超えた市町村がある。こうした現状を踏まえ、過疎化や高齢化に伴う様々な課題を抱える市町村と、人材育成のための実践的教育や地域貢献活動に対する関心が高く、活動フィールドを求める都市部の大学とをマッチングする「大学のふるさと制度」を県独自に実施している。

摂南大学は、この制度を活用し、すさみ町、由良町において、「休止していた伝統行事の復活」や「高齢者の見守り活動」、「地域資源を活用した商品の企画・PR」など、地域ならではの課題解決に向けた取組みを地域の活動団体や住民と協働しながら継続的に実施している。



【高齢者見守り・交流活動】

評価された点

・学生が地域に入り込む県の「大学のふるさと制度」が活用されている好事例。過疎地で活動する年間1,300名以上の学生との交流は、地域住民の活性化に繋がっている。
・行政の制度を活用した事業ではあるが、伝統行事の復活や、地域の資源を活かした商品開発など、しっかりと実績を上げている。地域住民をうまく巻き込んで事業を継続させている点も評価したい。
・「大学のふるさと制度」を活用して、過疎地域と都市大学との交流促進を図る。大学がそのハブになることを示した優良モデルである。
・地元大学がフィールドワークとして連携体制づくりを図る例が多く、府県をまたぐ他地域への広がりといった展開は難しい中で、積極的にマッチング事業を多様に展開している。



【フィールドワークでの介護施設訪問】